

## ブランコでの事故事例と防止対策

ブランコでは、その構造上、落下する事故が報告されています。また、落下した所に、戻ってきたブランコの座面が当たって頭や顔にけがをする危険もあります。

さらに、ブランコの周囲で遊んでいたり、走っている時に勢いのついたブランコにぶつかってけがをすることもあります。

### ブランコ事故の事例

#### 事故事例 1

4歳の女児がブランコを漕いでいる時に手を離してしまい、お尻から地面に落ちたところ、座面があごにぶつかり、けがをした。

#### 事故事例 2

6歳の男児がブランコから飛び降りた時、バランスを崩して顔面から前に倒れてしまい、眼窩底骨折と診断されて手術を受けたが、視力障害が残った。

#### 事故事例 3

4歳の女児がブランコを漕いでいた時、手が離れてしまって勢いよく落ち、ブランコの柵に顔を強打してけがをした。

出典：災害共済給付制度（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

### ブランコ事故を防ぐために

#### 子供への指導

##### 遊びのルールを教える

- ・ブランコに乗るときは絶対に手を離さないようにする
  - ・ブランコからは飛び降りず、止まってからゆっくりと降りる
  - ・動いているブランコには絶対に近づかない
  - ・チェーンの隙間に指をはさまないように注意する
- などの基本的なルールをしっかりと子供に教えましょう。

#### 保育施設の対策

##### 遊具の整備・補修を念入りに

- ・ブランコのチェーンや接続部分に摩耗や腐食等の老朽化がないか
- ・座面がささくれるなどしていないか
- ・ブランコの周囲にぶつかる危険のある障害物がないか
- ・地面にコンクリートや石がむき出しになっていないか

年に1回以上は必ず定期点検を行い、必要に応じて専門の業者による点検をしてもらいましょう。

##### 地面の素材を柔らかいものにする

落下した場合を考え、地面をウッドチップやゴム、人工芝等の柔らかく、衝撃を吸収する素材にしましょう。また、石やガラス片等の危険物の除去を徹底しましょう。

